

平成 29 年度
 全国私立中学高等学校 私立学校専門研修会
法人管理事務運営部会
実施報告

◆研究のねらい◆

これからの私学を支える校務運営を考える
 ～リスクマネジメントと労務環境の諸問題について～

2016年9月に政府の「働き方改革実現会議」がスタートするなど働き方に対する注目は近年高まっており、学校においては部活動における休日出勤や長時間労働等が取り沙汰されています。また、グローバル化とともに海外留学・修学旅行等の機会が増え、不測の事態への備えは急務となっています。

当部会では海外教育旅行におけるリスクマネジメントについてのワークショップとともに、労働時間と部活動指導への対応等で学校と管理教職員が直面している諸課題について講演を実施します。

更にこれらの講演等を踏まえて、分科会では校務の事務・労務・危機管理における諸課題を中心に、参加者による意見・情報交換を行い、交流を深めます。

- ◆会 期◆ 平成 29 年 8 月 10 日 (木)
- ◆会 場◆ アルカディア市ヶ谷 (私学会館)
 東京都千代田区九段北 4-2-25
 電話 03-3261-9921
- ◆参加人数◆ 101名
- ◆参加対象◆ 理事・事務局長・事務長等の事務管理職
 ならびに校長・副校長・教頭・教務部長等の
 教育管理職



●東京メトロ有楽町線・南北線、都営地下鉄新宿線、JR 中央線・総武線「市ヶ谷駅」から徒歩約 5 分

◆日 程◆

9	10	11	12	13	14	15	16	17
	30		40	40		30		
受付	開 会 式	ワークショップ	昼食 情報交換	講演	研究討議		閉 会 式	
					分科会	全体会		

- ◆ワークショップ◆ テーマ 「海外教育旅行におけるリスクマネジメント～シミュレーションで考える実践対応～」
 講師 株式会社JTBコーポレートセールス 企画開発課 教育事業チーム マネジャー 高岡 裕之
 講師 ジェイアイ傷害火災保険株式会社 営業企画部 リスクソリューション担当 城戸 克斉

◆概要◆ グローバル人材の育成が叫ばれる中、海外に目を向ける学校が増えてきています。一方海外では、重大な事件・事故・災害・疾病等などに対して、国内とは勝手が違う対応が求められるなど、リスクに対する十分な備えが必要となります。そこで、海外教育旅行に際してのさまざまなリスクについて事例を交えてご紹介するとともに、初動対応のシミュレーション体験を通して、万一の事故の際に学校としてどういう対応をしたら良いかを皆様とご一緒に考えたいと思います。
 「生徒・ご引率の安全と保護者からの信頼、学校のブランドを守るために、学校として何をする必要があります、どうすれば良いのか」を考える機会として、貴校の危機管理対策の一助になれば幸いです。

- ◆講演◆ テーマ 「学校における長時間労働にどう向き合うか～部活動指導に伴う諸課題を中心に～」
 講師 横浜第一社会保険労務士事務所 代表 社会保険労務士 田中 崇司

◆横浜第一社会保険労務士事務所代表
 ◆神奈川県社会保険労務士会・集団労使紛争対策部に所属
 ◆昭和47年生まれ。東京大学文学部卒業（労働社会学ゼミに所属）。
 TBSテレビ報道局記者（旧文部省や旧労働省を専門に担当）、朝日新聞記者などを経て、社会保険労務士を開業。
 ◆教育と労働の関係法令、両方に詳しい社労士として、幼稚園から大学まで多くの私立学校に関する、就業規則の改定、労務問題の相談、労働基準監督署の臨検対応に携わっている。
 ◆社労士業の傍ら、平成25年度から2年間、神奈川労働局の非常勤職員として労基署の窓口業務にも従事。行政官の経験から得た知識も踏まえ、全国で私立学校の理事長・校長・事務長・事務担当者に向けた講演を多数行っている。

○工藤誠一・法人管理事務運営専門委員長による問題提起。

- ◆研究討議◆ 「各参加校におけるリスクマネジメントと部活動等労働時間についての諸問題」
 ① 分科会 グループ別討議（1グループ20名程度）
 ② 全体会 参加者による討議と情報交換
 ＊各グループからの報告 ＊情報交換（交流会） ＊総括

一日の研修を総括し、併せて参加者相互の交流を深め、今後のネットワークづくりに供したいと思います。名刺をご用意下さい。

- ◆講師・指導員（順不同）◆
 高岡 裕之（JTBコーポレートセールス 企画開発課 教育事業チーム マネジャー）
 城戸 克斉（ジェイアイ傷害火災保険株式会社 営業企画部 リスクソリューション担当）
 田中 崇司（横浜第一社会保険労務士事務所 代表）
 工藤 誠一（聖光学院中学高等学校 理事長・校長）
 吉田 晋（富士見丘中学高等学校 理事長・校長）
 中川 武夫（蒲田女子高等学校 顧問）

- ◆専門委員・客員研究員・指導員（順不同）◆
 工藤 誠一（聖光学院中学高等学校 理事長・校長）
 服部 泰啓（学校法人信愛学園 理事長）
 川島 英和（学校法人川島学園 理事長）
 野尻 富太郎（学校法人芝学園 常務理事・事務局長）
 正村 幸雄（学校法人鹿児島学園 理事長）
 川本 芳久（一般財団法人日本私学教育研究所 事務局長）

9:00	受付・資料配付 (私学会館 6階 阿蘇前)	
9:30	◆ 開会式 (会場: 6階 阿蘇) [司会: 川本芳久 事務局長]	
	1. 主催者挨拶 一般財団法人日本私学教育研究所 理事長 吉田 晋	
	2. 専門委員長挨拶 法人管理事務運営専門委員長 工藤 誠一	
	3. 役員・専門委員等紹介	
	4. 日程説明	
10:00	◆ ワークショップ (会場: 6階 阿蘇) [司会: 野尻富太郎 専門委員]	
	テーマ 「海外教育旅行におけるリスクマネジメント～シミュレーションで考える実践対応～」	
	講師 株式会社JTB コーポレートセールス 企画開発課 教育事業チーム マネジャー 高岡 裕之	
	講師 ジェイアイ傷害火災保険株式会社 営業企画部 リスクソリューション担当 城戸 克斉	
11:40	◆ 昼食・情報交換会	
	Aグループ [司会: 工藤 誠一 専門委員長] (会場: 7階 妙高)	
	Bグループ [司会: 服部 泰啓 専門委員] (会場: 7階 白根)	
	Cグループ [司会: 野尻 富太郎 専門委員] (会場: 4階 鳳凰 (東))	
	Dグループ [司会: 正村 幸雄 客員研究員] (会場: 4階 鳳凰 (西))	
	Eグループ [司会: 中川 武夫 所長] (会場: 4階 飛鳥)	
12:40	◆ 講演 (会場: 6階 阿蘇) [司会: 服部泰啓 専門委員]	
	テーマ 「学校における長時間労働にどう向き合うか～部活動指導に伴う諸課題を中心に～」	
	問題提起 法人管理事務運営専門委員長 工藤 誠一	
	講師 横浜第一社会保険労務士事務所 代表 社会保険労務士 田中 崇司	
14:30	◆ 研究討議	
	「各参加校におけるリスクマネジメントと部活動等労働時間についての諸問題」	
	I. グループ討議	
	Aグループ [司会: 工藤 誠一 専門委員長] (会場: 7階 妙高)	
	Bグループ [司会: 服部 泰啓 専門委員] (会場: 7階 白根)	
	Cグループ [司会: 野尻 富太郎 専門委員] (会場: 4階 鳳凰 (東))	
	Dグループ [司会: 正村 幸雄 客員研究員] (会場: 4階 鳳凰 (西))	
	Eグループ [司会: 中川 武夫 所長] (会場: 4階 飛鳥)	
16:00	-----	
	II. 全体会 (会場: 6階 阿蘇) [司会: 正村幸雄 客員研究員]	
	※各グループからの報告、情報交換 ※情報交換 (交流会)	
16:50	◆ 閉会式 (会場: 6階 阿蘇) [司会: 正村幸雄 客員研究員]	
	1. 総括 法人管理事務運営専門委員長 工藤 誠一	
	2. 閉会挨拶 一般財団法人日本私学教育研究所所長 中川 武夫	
17:00		

※お帰りの際はアンケートにご協力下さい。また、名札は各自お持ち帰り下さい。

※講演・研究討議の録画・録音及び討議内容のSNS等インターネット上での公開は禁止とさせていただきますので、ご了承下さい。

概要

8月10日、「これからの私学を支える校務運営を考える～リスクマネジメントと労務環境の諸問題について～」を研究のねらいとして、アルカディア市ヶ谷で開催した。



参加対象者の理事・事務局長・事務長等の事務管理職ならびに校長・副校長・教頭・教務部長等の教育管理職が満遍なく参加され、募集60名に対し、北海道から沖縄まで、募集を大きく上回る101名が参集し、テーマに対して関心の高さをうかがわせる研修会となった。

午前は高岡裕之氏（JTB コーポレートセールス）と城戸克斉氏（ジェイアイ傷害火災保険）によるワークショップ「海外教育旅行におけるリスクマネジメント～シミュレーションで考える実践対応」を行い、午後の講演「学校における長時間労働にどう向き合うか～部活動指導に伴う諸課題を中心に～」では、工藤誠一専門委員長から問題提起があり、続いて田中崇司氏（横浜第一社会保険労務士事務所）が最新情報等を解説した。昼食時の情報交換会及び研究討議では参加者が課題を共有するとともに、交流を図った。参加者からは「タイムリーなテーマだった」「内容が濃く勉強になった」と大変好評で、盛会裡に終了した。

◆開会式◆



吉田晋理事長は挨拶として今次研修会のテーマに関わる現在私学を取り巻く環境・動向について話した。続いて、工藤誠一専門委員長からの挨拶では、当部会の主旨説明と共に、参加者に感謝を述べた。

吉田晋理事長：今回の当部会は2つのテーマある。まず、グローバル社会の中での海外への引率の機会は増えているが、日本人の安心感や日本を基準にして海外に行く問題が起きやすい。そのためリスクマネジメントが必要になる。次に、近年の働き方改革ともなあって学校をとりまく環境は変わってきている。この2つのテーマは今後、自分達の学校のこれからの考える上で重要な課題である。当部会が意義深い会になることを願っている。

工藤誠一専門委員長：本年度の当部会は「これからの私学を支える校務運営を考える～リスクマネジメントと労務環境の諸問題について～」を研究のねらいに開催する。グローバル化に対応して各学校が海外で研修を行っているが、事故が起きた場合、学校としての対応は非常に重要な問題である。また、労務環境の問題では特に部活動を中心に扱う。これらの問題に対して今後どのように取り組んでいくのかということを考え、これからの学校運営に役立ててほしい。

◆ワークショップ◆

テーマ 「海外教育旅行におけるリスクマネジメント～シミュレーションで考える実践対応～」

講師 株式会社JTB コーポレートセールス 企画開発課 教育事業チーム マネジャー 高岡 裕之

講師 ジェイアイ傷害火災保険株式会社 営業企画部 リスクソリューション担当 城戸 克斉



最初に高岡裕之講師が社会状況や海外教育旅行の現状等について概要を解説し、続いて、海外研修における事故対応について、事故発生後の初動を中心にシミュレーションを行った。参加者はシミュレーションを通じて、自身で考え、グループワークや全体で意見を共有し、理解を深め、既知感を得ることができた。また、城戸克斉講師からの事例紹介を通じ、具体的な対応について学んだ。

シミュレーション、事例内容

- ①危機対応シミュレーション（海外でのバス事故）
- ②事例紹介（ニュージーランド地震）
- ③リスク対応ケーススタディ（テロ予告時の催行可否）

◆講演◆

テーマ 「学校における長時間労働にどう向き合うか～部活動指導に伴う諸課題を中心に～」

講師 横浜第一社会保険労務士事務所 代表 社会保険労務士 田中 崇 司

問題提起 法人管理事務運営専門委員長

工藤 誠 一



講演に先立ち工藤誠一専門委員長より、部活動指導における問題を提起した。問題提起を受けて、田中崇司講師より部活動指導における問題点や現在の働き方改革等の動向やそれに関する最新情報と現在指摘されている学校における諸問題等について説明が行われた。

◆研究討議◆

「各参加校におけるリスクマネジメントと部活動等労働時間についての諸問題」

①グループ討議



5つのグループに分かれて、各校の取り組みや事例、課題等の情報交換を行った。出退勤時間管理、労働時間、部活動指導員の導入等について活発な意見交換・参加者間での交流が行われた。

②全体会



各グループの記録者から各グループで話し合われた内容について、報告が行われ、全体でグループ毎の討論内容を共有した。そして、参加者同士が自由に意見を交換し、親睦を深めた。最後に、工藤誠一専門委員長より当研修会の総括、中川武夫所長より閉会挨拶があり、終了した。

工藤誠一専門委員長：今後も時機を得た題材で研修会を行っていききたい。私立学校は独自の建学の精神をもっているが、それだけでは現在起きている様々な問題に対処できないのではないかと考えている。個の独立、群の想像と常々申し上げているが、それぞれの私学の独自性を発揮すること、そしてネットワークが肝要である。今日の成果を各学校に持って帰って、明日の日本を担う子供達の育成に共に努めていこうではないか。

中川武夫所長：今回の研修会では、海外教育旅行におけるリスクマネジメントと部活動の問題を取り上げた。現在、学校を取り巻く問題は多数有り、特にAIの発展に伴う問題に注目している。ビッグデータやAIを民間では活用し、人材を育てている。学校は長年の経験と勘と度胸で回っているところがある。今後は学校が組織体として新しい技術を前向きにとらえて導入していくことも必要ではないだろうか。こういった問題も当部会に加えて当研究所が実施する他の研修会でも取り上げていきたい。

都道府県別参加者数

No.	都道府県名	人数	No.	都道府県名	人数	No.	都道府県名	人数
1	北海道	2	17	石川	1	33	岡山	0
2	青森	0	18	福井	0	34	広島	1
3	岩手	0	19	山梨	0	35	山口	0
4	宮城	4	20	長野	1	36	徳島	0
5	秋田	0	21	岐阜	1	37	香川	0
6	山形	0	22	静岡	7	38	愛媛	0
7	福島	2	23	愛知	5	39	高知	0
8	新潟	0	24	三重	1	40	福岡	7
9	茨城	2	25	滋賀	0	41	佐賀	0
10	栃木	0	26	京都	10	42	長崎	1
11	群馬	1	27	大阪	9	43	熊本	0
12	埼玉	3	28	兵庫	2	44	大分	0
13	千葉	3	29	奈良	0	45	宮崎	0
14	神奈川	6	30	和歌山	0	46	鹿児島	0
15	東京	23	31	鳥取	7	47	沖縄	1
16	富山	0	32	島根	1			
						24 都道府県 計		101

参加者アンケートまとめ

○当研修会へのご参加を決められた動機をご記入下さい。

回答内容	件数
どちらのテーマにも関心があった	18
部活動等、労務環境の諸問題に関心があった	7
ワークショップのテーマに関心があった	3
テーマがタイムリーであった	4
現在直面している問題であるため	8
他校の情報等を得て、参考とするため	13
以前も参加しており、新たな発見や最新情報を得る事ができるから	2
学校等からの指示・案内があった	6

○ワークショップ「海外教育旅行におけるリスクマネジメント～シミュレーションで考える実践対応～」についてお感じになったことをご記入下さい。

回答内容	件数
勉強になった、参考になった等	22
分かりやすかった	5
シミュレーションが参考になった	2
意見交換ができたことがよかった	3
今後に活かしたい、マニュアルを作成・見直したい等	13
その他	7

○講演「学校における長時間労働にどう向き合うか～部活動指導に伴う諸課題を中心に～」についてお感じになったことをご記入下さい。

回答内容	件数
講演内容が非常に濃かった。整理・理解できた	11
田中崇司先生のお話が分かりやすかった、よかった等	4
学校として準備が必要であることを痛感した	1
研修会の内容をもとに、今後、学校で取り組んでいきたい	7
他校も共通の課題を抱えていることがわかった	3
他校の取り組みが参考になった	3
参加できてよかった	1
今後、勉強・情報収集していきたい	3
その他	8

○研究討議「各参加校におけるリスクマネジメントと部活動等労働時間についての諸問題」についてお感じになったことをご記入下さい。

・ I. グループ討議について

回答内容	件数	
各学校の取り組みが参考になった	計34	
・内訳	クラブ活動について	4
	労働時間について	4
	タイムカードについて	3
	組合等について	1
	保険について	1
	事例が聞いてよかった	5
	現状、悩みを共有できた	16
今後を活かしたい	3	
有意義だった	8	
その他	2	

・ II. 全体会について

回答内容	件数
他の班の意見も参考になった	4
時間が短かった	6
よかった、参考になった	2
その他	5

○今研修会を通じて得られた成果を学校運営にどのように活かしていくべきか、お考えになることがありましたらご記入下さい。

回答内容		件数
研修会の内容を学校に報告し、改善に努めたい		14
研修会の内容が参考になった		計11
・内訳	労働時間について	3
	部活動について	2
	出退勤時間管理について	2
	勤務形態や勤怠管理について	2
	産休・時短などについて	1
	安全体制・リスク管理について	1
マニュアルのブラッシュアップ（あるいはマニュアルの作成）を行いたい		1
意欲を下げないよう制度改定を設定していく必要性を感じた		1
危機管理のケーススタディを是非実施したい		1
海外修学旅行（国内でも）の説明会時の資料の修正を行いたい		1
懇親会ができて良かった		1

○今後の研修会への希望がございましたらご記入下さい。（開催時期・開催地・研修テーマ・具体的な研修内容 等）

回答内容		件数
○開催時期		
・内訳	この時期が適当	3
	「盆」直前後は、外してほしい	1
○内容		
・内訳	今回のテーマを継続希望	3
	教員採用について	1
○その他		
・内訳	グループ討議の時間を長く	1
	ワークショップ・講演の時間を長く	1

○その他、お気づきの点がございましたらご記入下さい。

- ・タイムリーな問題が提起されてありがたかった。
- ・大変参考になる研修会であった。
- ・アンケートを書く時間を予め設けておいてほしかった。